

南郷小学校


「なかよく
かしくく たくましく」

校長 則 ルリ

◆はじめに

本年度は、7人(男子3人、女子4人)の新入生を迎えて、児童数43人(男子23人、女20人)、教職員数12人で教育活動をスタートさせました。

児童は、素朴で明るく、休み時間には、学年関係なく仲良く元気に遊ぶことができます。保護者・地域の方も、学校に対して温かく、とても協力的です。

今年度も、校庭の石碑に刻まれている校訓「なかよくかしくく たくましく」、そして「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」の学校教育目標のもと、知・徳・体・命をバランス良く


施し生きていく力を育むために、地道な取り組みを進めています。

◆防災教育と防災への取組

学校は、海拔6.6m、海からの直線で670mの場所に

位置していることから、防災教育を学校の重点課題と位置付け、「防災教育の風土づくり」に向け、毎月の避難訓練、体力作り、炊出し訓練、防災学習・研修、保護者・地域との連携など、実践を積み重ねています。

7月には、「黒潮町津波防災教育プログラム」にかかわる授業を公開し、課題や改善方策などについて協議を行いました。

プログラムの改訂作業は、作業部会を中心に進んでいます。



防災教育の授業公開

一次避難場所については、現在の裏山から、防災倉庫の設置が可能な場所への変更計画が進んでいます。

◆学力の定着・向上に向けて

今年度も、「自ら学ぶ子どもを育てる」言語活動を大切にして「の研究主題は引き続き、研究教科を算数科に絞り、「児童自らが考え学ぶことができる授業づくり」に取り組んでいます。全担任の教材研究・授業研究には、外部

講師を招き、本校の実態にあった授業スタンダードの確立を進めています。

主な取り組み

- ① 授業形態と複式学級の学び
- ② 基礎学習・チャレンジ・フ
- ③ 基礎学習・チャレンジ・フ
- ④ 庭学習の手引きの活用と定着
- ⑤ 長期休業中の加力学習などの
- ⑥ 特別教室などの環境整備



夏チャレ(加力学習)

◆標準学力調査結果より

左の表は、今年4月に実施した標準学力調査の結果です。5年生は厳しい結果でした。

標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	1.11	1.11	0.99	0.79
算数	1.06	1.05	0.98	0.93
理科			1.04	0.79

学力をつけることは、一人一人の子どもたちの個性や能力を伸ばし、幅広く豊かな進路、夢の実現や目標の達成など、豊かな未来に向けた大切な営みです。

平均点だけでなく、一人一人の結果を分析・把握し、少しでも課題解決ができるように、全教職員が一丸となって、学力を伸ばそうと頑張っています。

◆四国地区人権教育研究大会での実践発表

7月徳島県で開催された四国地区人権教育研究大会では、「一人一人の自立と人権意識の確立をめざして」のテーマで、学校・黒潮町の取り組みの一端を報告してきました。

◆学校・家庭・地域との連携

「地域に根ざした学校」地域の方々とはふれあい親しみを深める活動として、昔遊びを通しての三世代ふれあい参観日、グランドゴルフ、ふれあいサロンドを行って



地域の方と「紙相撲」

年度も引き続き、教育ボランティアの皆さんが、毎週金曜日の朝の読み聞かせ、米作り学習、大根交流、手話学習などで、学校に関わってくださっています。子どもたちはもちろん、学校教育にとつて大きな支えとなっています。

地域の行事には児童の参加が増え、地域の行事の伝承ができています。地域を誇りに思っている子どもを育てていきたいと思っています。



南郷小応援隊：読書ボランティア

そのためにも、学校の取り組みが一過性に終わることなく、これからも地域に開かれた学校として、教育のあり方を探っていくことが重要だと考えています。



伝統芸能太刀踊り

入野小学校

「心豊かで、たくましい」

子どもの育成

校長 芝 雅人

◆はじめに

本年度10月末現在、入野小学校には136人(男子69人、女子67人)の子どもたちが在籍しています。10年前の児童数が200人を超えていたことを思うと少し寂しい気もしますが、子どもたちは元気いっぱいに学校生活を楽しんでいきます。

学校の教育目標は「心豊かで、たくましい子どもの育成」で、ここ数年間、同じ目標で取り組みを進めています。この「心豊かな子ども」を具体的な姿で示すとすると、皆さんも感性の豊かな子どもたちのさまざまな様子が思い浮かぶと思います。私としては、その中でも、自分を大切にすると同じように、他の人の気持ちや願いを状況を見ながら推しはかる人に育ってほしい、そんな願いで取り組んでいます。

もう1つの「たくましい子ども」については、「身体的なたくましさ」だけでなく、「気

持ちのたくましさ」も含めて考えています。私たちが願っているのは「当たり前前のごとが、当たり前前にできる」子どものもので、簡単なように思えるけれど、難しいことだと思っています。当たり前前のごとが多くが日常的で小さな事のように思えるからです。何でも無さそうなおことの繰り返しができる勤勉さ、それを支える気持ちの強さを備えた人に育つて欲しいというのも、私たちの願いの1つです。

◆授業を通して

先ほど述べたような子どもたちを授業を通してどのように育てるかを考えるのが、校内で行われる職員研修の役割の1つです。今年度のテーマも、ここ数年間同じで算数科を通し「かかわり合い、学び合う子どもを育てる」としてあります。「かかわり合う」も「学び合う」も「心豊か」と「たくましい」に関連していると考えています。

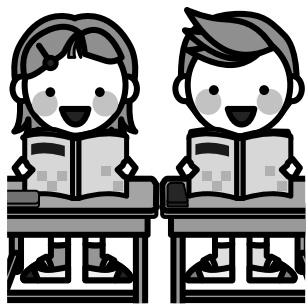
具体的には、「比べてみると、こちらの考えの方が分かりやすい」「この考えとこっちは考えでは、この部分が似ている」「この部分が違っている」というように見ることができ

る子どもたちや、「その意見は、こんな考え方だと思う」のように他の人の考えを推しはかる子どもたちに育ってほしいと思っています。

そして、「その考え方はおもしろい・すごい」のように、正誤だけでない考え方・見方の持つ価値にも気づけるようになってほしいと思っています。

そのためには、「絵や図など既習事項を使って、自力解決する授業」「考え方の良さやおもしろさを見つけようとする授業」という授業を行うことを目指しています。

もちろん、すべての授業で行える方法ではないと思いますが、少しでもそんな授業を増やしていきたいという思いから、校内でお互いの授業を参観し、検討し合うという取り組みをしています。



◆学力の状況

4月に行った標準学力調査の結果は次の通りです。

標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.97	0.87	0.80	0.96
算数	1.02	0.91	0.90	0.91

行ってみたい」「楽しかった」と子どもたちが感じるような雰囲気の良い図書室になっているところが自慢です。

子どもたちが読書好きになるためには子どもたちの興味・関心にあつた本に出会うことが必要ですが、そのためには「図書室に行きたくなる」ことも大切な条件になります。それにふさわしい図書室になっていると自負しています。

皆さんも入野小学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。読書は子どもたちにとって、知育的な効果だけでなく徳育的な効果も期待できると言われています。ですから、入野小学校では日々の読書の時間にも力を入れていきます。掃除の後の10分間は「読書の時間」になっています。この時間は、子どもたちだけでなく、職員室にいる職員も含めて「ページをめくる音以外はたてはいけない」ことが、約束になっているのです。

厳しい状況を示す数値が多く並びました。これらの改善に向け、これまでの「くろしおタイム」や朝会の時間を活用した視写や算数、ノート紹介などの取り組みをより充実させること、それに加えて新聞記事を使ってそれを要約したり内容に対する感想を簡潔に述べたりするなど、いくつか新たな取り組みを加えて頑張っています。

◆読書活動の充実

入野小学校の自慢の1つに「図書室の充実」があります。棚がきれいに整頓され、利用しやすいだけでなく、「また

◆ホームページのご案内

ホームページでも子どもたちの活動を紹介しています。「入野小学校」で検索してご訪問ください。